

令和 8 年度

業 務 番 号 繰流2下 第 14 号

下田第3汚水中継ポンプ場耐水化詳細 設計業務委託

特 記 仕 様 書

1. 設計図書に対して質問がある場合は 青森県三八県土整備事務所下水道課 あてに
質問書を 令和8年6月15日 の 12時00分 までに提出して下さい。
(質問書送付先FAX番号 : 0178-29-1690)
2. 回答書は 令和8年6月18日 の 12時00分 までにFAXで回答します。
3. 回答は、質問書を提出した会社を含め全社に通知します。
4. 上記以外の方法による質問・問い合わせ等は、ご遠慮願います。
【電話やメール、直接来訪をされての質問・問い合わせには、一切お答えできません】

上北郡おいらせ町三本木 地内

青森県三八県土整備事務所

第 1 章 総 則

第 1 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「設計業務等共通仕様書」によるほか、特記仕様書に基づき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 2 条 委託業務日数又は履行期限

1. 業務日数 日
2. 履行期限 令和 9 年 1 月 15 日

第 3 条 照 査 技 術 者

本業務については照査技術者を配置すること。

第 4 条 打ち合わせ等

設計業務着手時、設計業務の主要な区切り及び設計業務完了時において行う打ち合わせは、3回とする。設計業務の主要な区切りは、設計業務着手時の打ち合わせにおいて決定するものとする。

なお、設計業務着手時及び設計業務完了時の打ち合わせには、管理技術者及び照査技術者が立ち合うものとする。

第 5 条 設 計 業 務 計 画

本業務における業務計画書は、第 1 回打ち合わせ後、速やかに提出するものとする。

第 6 条 資 料 の 貸 与

貸与する図書及びその他の関係書類は下記のとおりとする。

令和 3 年度 繰流 2 下第 10 号 馬淵川流域下水道耐水化計画策定業務委託 報告書
平成 26 年度 第 5937 号 下田第 3 汚水中継ポンプ場再構築検討業務委託 報告書
その他協議による

第 7 条 履 行 報 告

受注者は、契約書第 15 条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第 8 条 「参考資料」

特記仕様書の外に提示する「参考資料」は、指名参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意して下さい。

第 2 章 業 務 内 容

第1条 設 計 条 件

設計条件は、下記のとおりとする。

工 種 作 業 条 件

別紙による。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

第2条 B I M／C I Mの活用について

本業務は、「青森県県土整備部所管土木事業におけるB I M／C I M活用実施要領」に基づき、受注者の希望により3次元モデルを活用できるものとする。

3次元モデルの活用を希望する場合は、業務受注後、調査職員と目的、活用内容、仕様及び費用等について協議すること。

費用は、発注者が必要と認めるものに限り設計変更の対象とする。

第3条 その他

- － 1) 完成検査の予定については、実施予定の前月15日までに予定日を調査職員に報告のこと。
- － 2) 色彩等の景観の検討については、青森県景観条例に基づき、「青森県公共事業景観形成基準」及び「青森県景観色彩ガイドプラン」を遵守しなければならない。
- － 3) 防犯に配慮した環境の検討については、「防犯に配慮した設計ガイドライン」を遵守しなければならない。
- － 4) 「青森県リサイクル製品の認定及び使用の推進に関する条例」(青森県リサイクル製品認定制度)第9条第1項の規定により制定された、「青森県認定リサイクル製品優先使用指針」を遵守しなければならない。
- － 5) 受注者は、受注者及び下請負者等に対して暴力団員等による不当介入があった場合は、発注者及び警察へ報告・通報しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力を行うものとする。
- － 6) 本業務は、ウィークリースタンス等の実施対象業務である。実施にあたっては、「県土整備部発注設計業務等におけるウィークリースタンス等の実施について」に基づき、受発注者相互に協力し取り組むものとする。

＜整備企画課 HP＞

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

- － 7) 本業務では、情報共有システムを利用することを原則とする。
なお、システムの利用に適さない場合は、調査職員との協議によりシステム利用の対象外とすることができる。

情報共有システム利用基準 ＜整備企画課 HP＞

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/seibikikaku/hatarakikata.html>

第3章 成果品

第1条 成果品の提出

成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること。

1. 報告書

(1) 電子媒体 (CD-ROM)1.....部

(2) 紙媒体 (簡易なファイルにとじたもの、図面含む)1.....部

2. その他

(1) 現地調査写真集1.....部 (報告書電子媒体に含む)

.....
.....
.....

設計業務等に関する提出書類一覧表

(1) 契約書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	業 務 工 程 表	契 約 後 14 日 以 内	1	3 条
建設管理課	管 理 技 術 者 通 知 書	契 約 後 遅 滞 な く	1	10 条
調査職員	業 務 履 行 報 告 書	毎月 1 回、調査職員の指定日	1	15 条
調査職員	完 成 届	業 務 を 完 了 し た と き	1	32 条
調査職員	業 務 成 果 引 渡 書	引 渡 の と き	1	32 条
調査職員	請 求 書	引 渡 の と き	1	33 条

(2) 契約書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
建設管理課	照 査 技 術 者 通 知 書	設計図書で定められている 場合、契約後遅滞なく	1	11 条
建設管理課	管理(照査)技術者変更通知書	変 更 の 都 度	1	10 条・11 条
調査職員	貸 与 品 借 用 書	貸 与 時	1	16 条
調査職員	貸 与 品 返 還 書	返 還 時	1	16 条
調査職員	履行期間の変更請求書	変更を必要とするとき	1	23 条
調査職員	部 分 使 用 同 意 書	発注者が部分使用を請求したとき	1	34 条
調査職員	指定部分に係る（又は、引渡 部分に係る）業務完了報告書	設計図書に定められた期日	1	38 条

(3) 仕様書に基づいて必ず提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	業 務 計 画 書	契 約 締 結 後 14 日 以 内	1	1112 条
調査職員	業 務 打 合 簿	そ の 都 度	1	(契)2 条 (仕)1110 条他

(4) 仕様書に基づいて必要に応じて提出する書類

提出先	名 称	提出期日	部数	条 項
調査職員	担 当 技 術 者 届	担当技術者を定めた場合	1	1109 条
調査職員	担 当 技 術 者 変 更 届	そ の 都 度	1	1109 条
調査職員	照 査 報 告 書	業 務 完 了 後	1	1108 条
調査職員	身 分 証 明 書 交 付 願	必 要 な 時	1	1116 条
調査職員	事 故 報 告 書	事 故 が 発 生 し た と き	1	1132 条
調査職員	新 技 術 活 用 計 画	NETIS 登録技術の活用を希望するとき	1	1139 条
調査職員	活 用 効 果 調 査 票	業 務 完 了 後	1	1139 条
調査職員	生 産 性 向 上 提 案 書	後段階の設計において 一層の生産性向上の検討の 余地が残されている場合	1	1209 条

別紙

1 設計の目的

本業務は、近年頻発する豪雨の影響で内水による浸水被害（直近では令和4年8月）を受けた下田第3污水中継ポンプ場について、馬淵川流域下水道耐水化計画に基づき、当該施設の耐水化工事に係る詳細設計図書を作成するものである。

2 設計の対象

2-1 ポンプ場

(1) 名称及び位置

下田第3污水中継ポンプ場 上北郡おいらせ町三本木172-14

(2) 排除方式

分流式

(3) ポンプ場種類

污水中継ポンプ場

(4) 能力

下田第3污水中継ポンプ場 0.005 m³/sec

3 その他特記事項

(1) 設計対象施設と設計範囲

設計 工種 設計 対象 施設	土木設計			
	設計 対象 水量 (m ³ /秒)	改築 レベル ※1, ※2	構成部分	設計範囲
流入きよ	0.01	3	躯体	図面, 数量を含むすべて

設計 工種 設計 対象 施設	建築設計				機械設計			電気設計		
	設計 対象 水量 (m ³ /秒)	改築 レベル ※1 ※2	構成 部分	設計 範囲	改築 レベル ※1	構成 部分	設計 範囲	改築 レベル ※1	構成 部分	設計 範囲
ポンプ室	0.01	3	仕上げ等 (建具)	図面, 数量 を含むすべて	3	スクリーン, 自動 除塵機, 破碎機	図面, 数量 を含むすべて	3	監視制御 設備	図面, 数量 を含むすべて

※1 下水道用設計標準歩掛表 令和7年度 一第3巻 設計委託―（公益社団法人 日本下水道協会 発行） 表―Ⅳ―7 による。

※2 土木設計及び建築設計における作業項目のうち「計算構造」の度合率については、改築レベル 2－1を適用するものとし、建築設計における当該作業項目の構成部分は「躯体」とする。

（2）補正

設計対象施設名	補正項目	有・無	補正項目	有・無
流入きょ	設計対象水量に係る補正	有	吐口に係る補正	無
	排除方式に係る補正	無	場内整備に係る補正	無
	覆蓋に係る補正	—		
	脱臭に係る補正	—		
	流入管底深度に係る補正	無		
	杭基礎及び地盤に係る補正	無		
	増築に係る補正	無		
ポンプ室	設計対象水量に係る補正	有	吐口に係る補正	無
	排除方式に係る補正	無	場内整備に係る補正	—
	覆蓋に係る補正	無		
	脱臭に係る補正	無		
	流入管底深度に係る補正	—		
	杭基礎及び地盤に係る補正	無		
	増築に係る補正	無		

（3）詳細設計図書の作成に関する作業

「下水道用設計標準歩掛表 令和7年度 一第3巻 設計委託―」〔Ⅱ〕ポンプ場実施設計業務 2－3 業務委託標準仕様書 第6章 改築実施設計（詳細設計）並びに〔Ⅳ〕ポンプ場・終末処理場改築実施設計業務 4－1 標準業務内容（ロ）ポンプ場・終末処理場改築実施設計（詳細設計）による。

4 参考図書

「下水道用設計標準歩掛表 令和7年度 一第3巻 設計委託―」〔Ⅱ〕ポンプ場実施設計業務 2－3 業務委託標準仕様書 第9章 参考図書 によるほか、工事設計図書の作成にあたっては青森県の営繕工事に係る基準・要領等を準用するものとし、詳細は協議による。

数量総括表

業務名	下田第3汚水中継ポンプ場耐水化詳細設計業務委託			業 種 項 目	下水道設計業務 下水道施設設計業務委託		
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
下水道施設設計業務委託		式		1			
ポンプ場・終末処理場改築実施設計		式		1			
ポンプ場耐水化詳細設計		式		1			
土木設計		式		1			
建築設計		式		1			
機械設計		式		1			
電気設計		式		1			
ポンプ場耐水化詳細設計:設計競技		式		1			
設計協議(詳細設計)		式		1			
ポンプ場耐水化詳細設計:現地調査		式		1			
現地調査(詳細設計)		式		1			

数量総括表

業務名	下田第3汚水中継ポンプ場耐水化詳細設計業務委託				業 種 目	下水道設計業務 直接経費	
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
直接経費		式		1			
直接経費		式		1			
旅費交通費		式		1			
旅費交通費（率計上・宿泊無）	詳細設計業務	式		1			
電子成果品作成費		式		1			
電子成果品作成費		式		1			
直接原価（その他原価除く）		式		1			
その他原価		式		1			
一般管理費等		式		1			
業務価格		式		1			